

2008年3月期 第3四半期決算

株式会社デンソー

2008年1月31日

DENSO

© DENSO CORPORATION All rights reserved.
無断複写・複製・転載を禁ず

1. 好調な完成車輸出・海外日系車生産により増収

2. 操業度差益、素材価格高騰の沈静化により増益

3. 足元の為替水準、景気減速リスクを踏まえ、通期予想は据え置き

2008年3月期 第3四半期 連結決算

2008.1.31

02 / 17

【単位:億円】

	07/12期実績 (3ヶ月)	06/12期実績 (3ヶ月)	増減額	増減率
売上高	10,292	9,279	+1,013	+10.9%
営業利益	(10.1%) 1,041	(9.6%) 891	+150	+16.9%
経常利益	(11.0%) 1,134	(10.5%) 970	+164	+16.9%
税引前利益	1,134	976	+158	+16.2%
当期純利益	(7.2%) 738	(6.7%) 617	+120	+19.5%
為替レート	112円/ドル 163円/ユーロ	117円/ドル 150円/ユーロ	5円 円高 13円 円安	
国内車両生産 (うちトヨタ)	315 万台 (114万台)	298 万台 (109万台)	+17万台 (+5万台)	+5.7% (+4.6%)
海外日系車生産 (うちトヨタ)	327 万台 (121万台)	290 万台 (104万台)	+37万台 (+17万台)	+12.8% (+ 16.3%)

2008年3月期 第3四半期 連結売上高増減要因

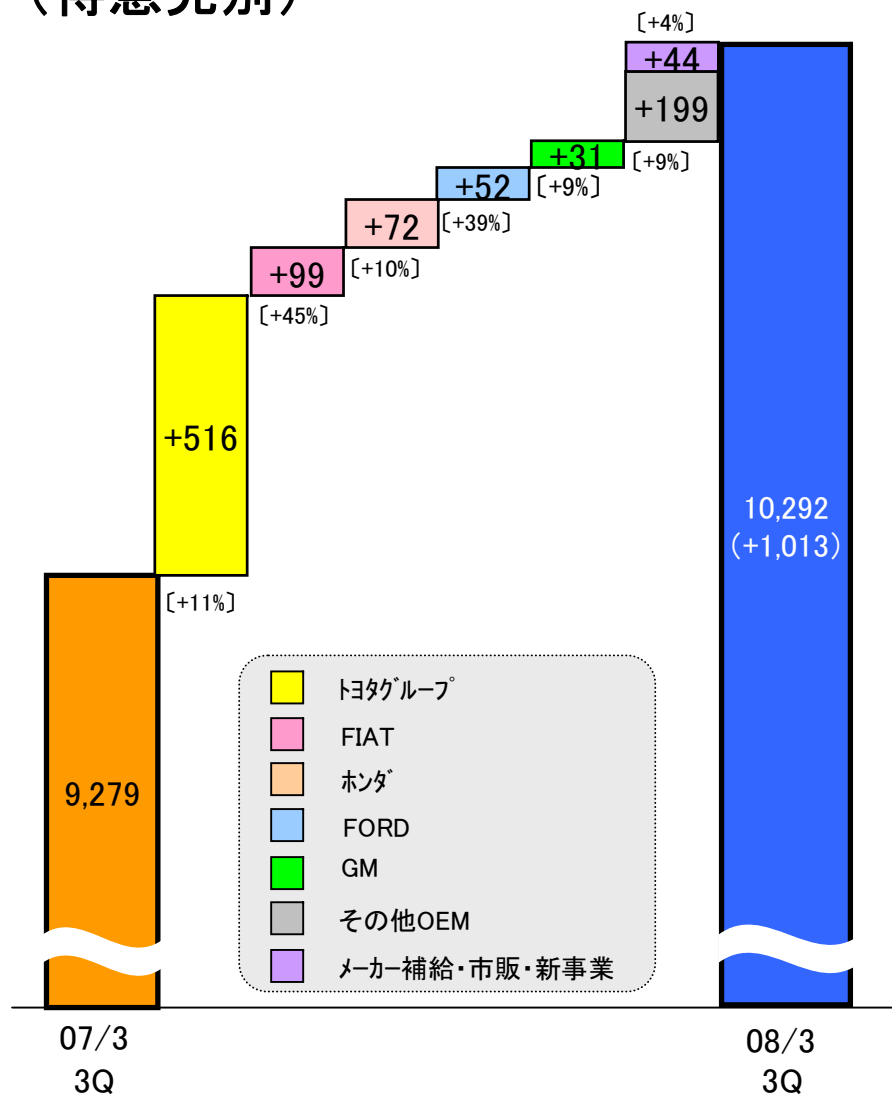
2008.1.31

03 / 17

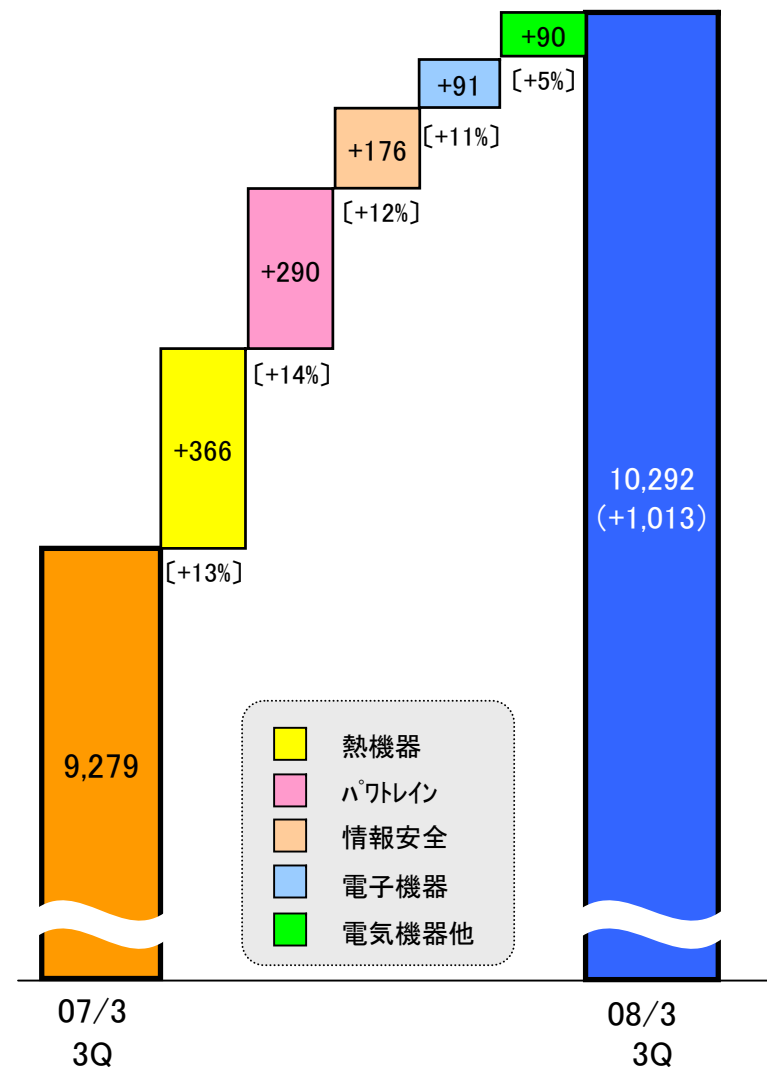
【単位:億円】

[]は対前年伸び率

(得意先別)



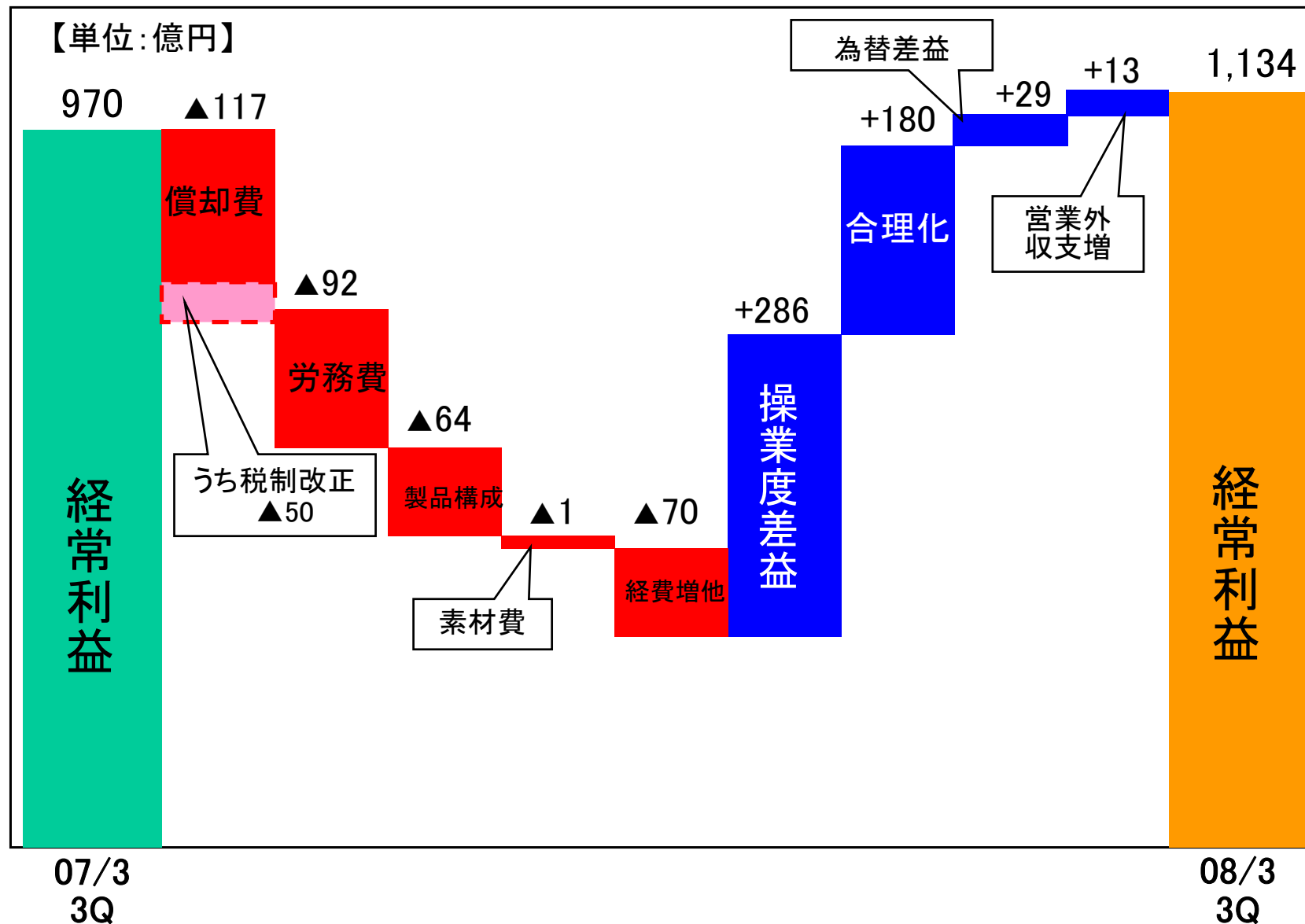
(製品別)



2008年3月期 第3四半期 経常利益増減要因(前年比)

2008.1.31

04 / 17



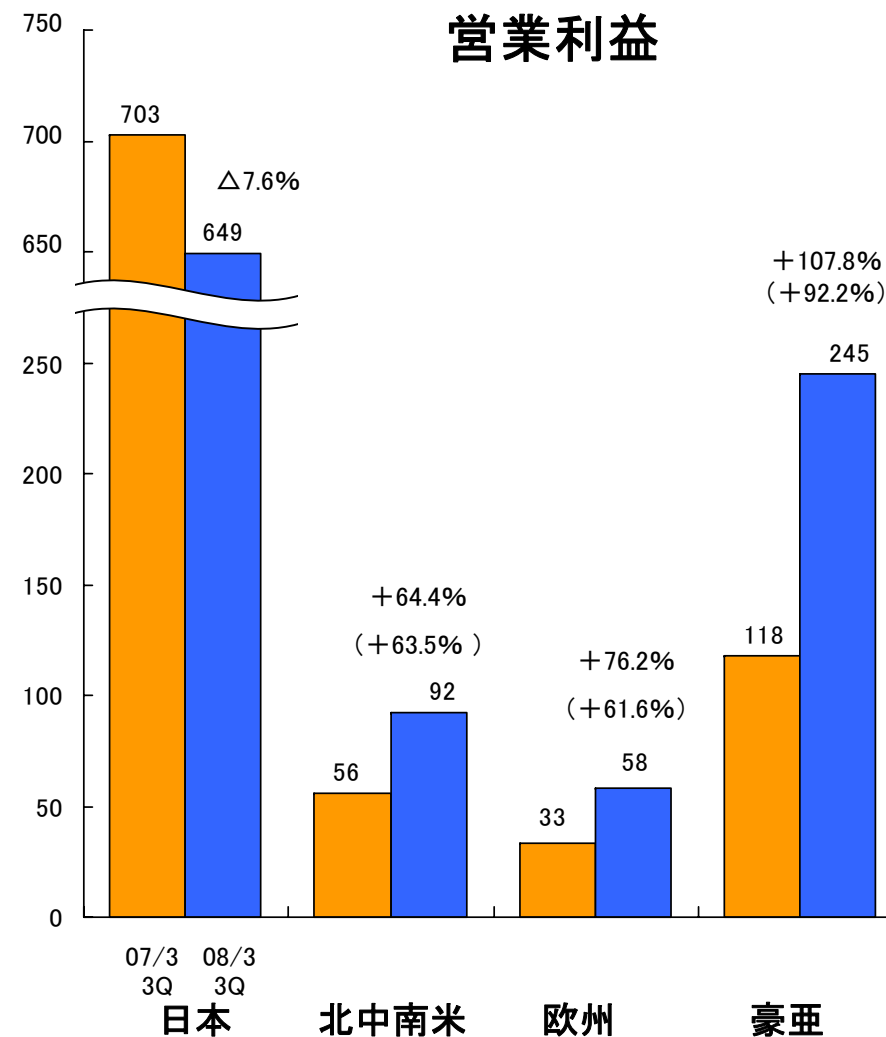
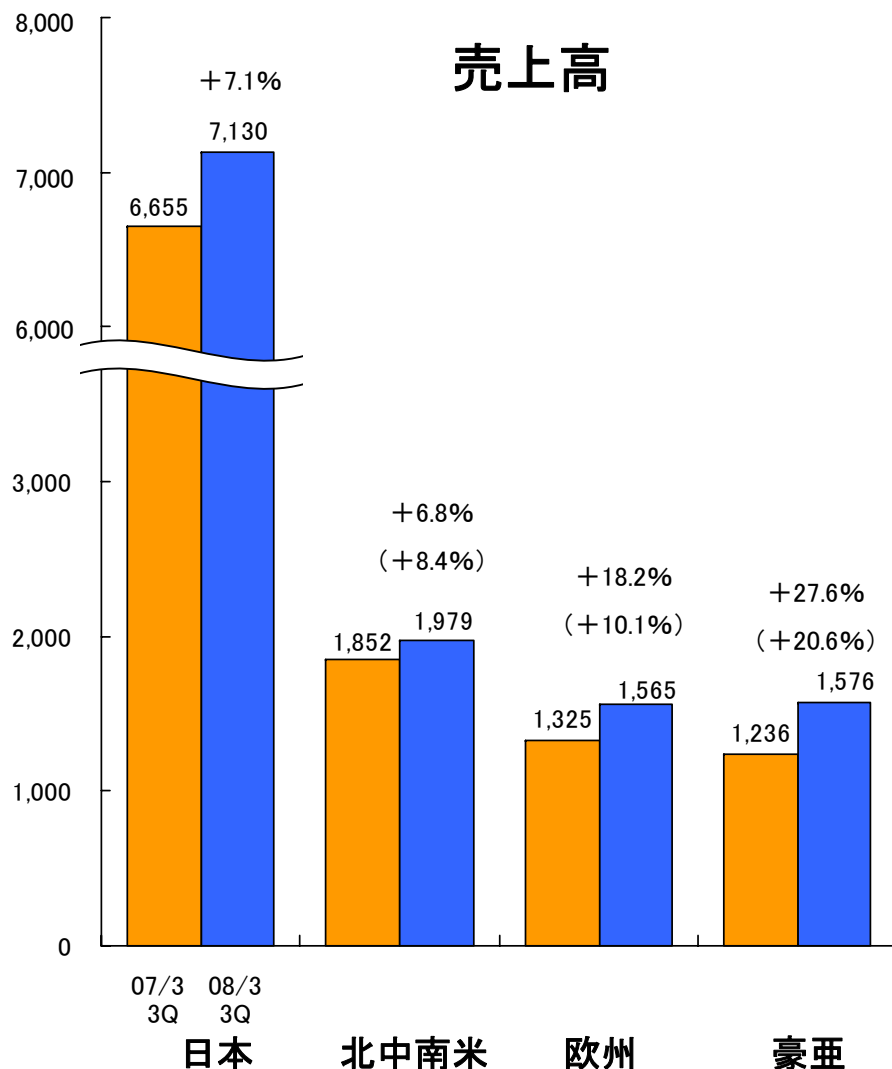
2008年3月期 第3四半期 所在地別セグメント情報(前年比)

2008.1.31

05 / 17

【単位:億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース



2008年3月期 第1～3四半期累計額

2008.1.31

06 / 17

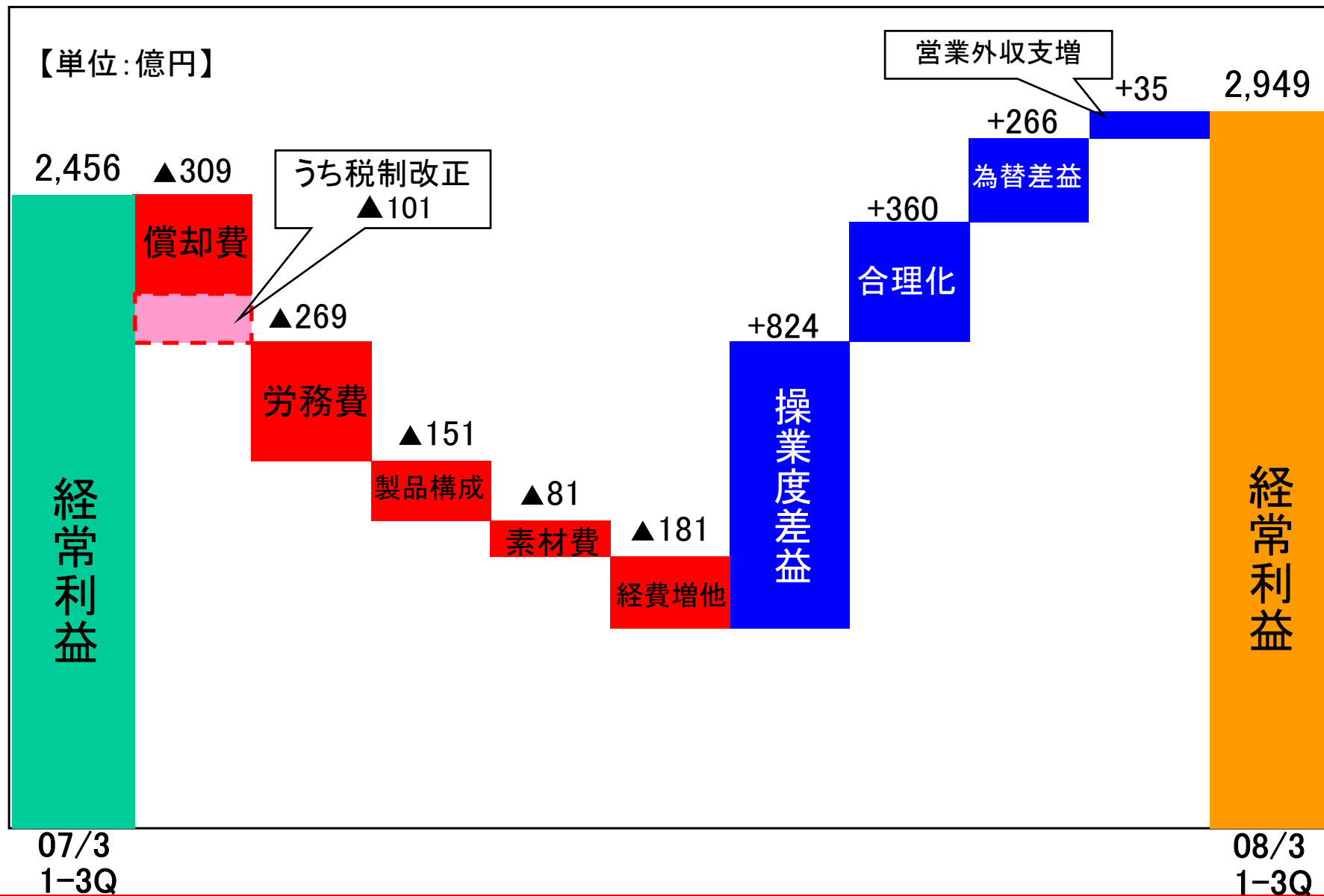
【単位:億円】

	07/12期実績 (9ヶ月)	06/12期実績 (9ヶ月)	増減額	増減率	中間時予想 進捗率
売上高	29,770	26,296	+3,474	+13.2%	+75.4%
営業利益	(9.2%) 2,733	(8.6%) 2,274	+459	+20.2%	+81.1%
経常利益	(9.9%) 2,949	(9.3%) 2,456	+494	+20.1%	+82.8%
税引前利益	2,919	2,450	+469	+19.1%	+82.7%
当期純利益	(6.5%) 1,921	(5.9%) 1,558	+362	+23.2%	+84.3%
為替レート	116円/ドル 162円/ユーロ	116円/ドル 148円/ユーロ	同水準 14円 円安		
国内車両生産 (うちトヨタ)	863 万台 (314万台)	851 万台 (309万台)	+12万台 (+5万台)	+1.4% (+1.6%)	
海外日系車生産 (うちトヨタ)	931 万台 (343 万台)	840 万台 (310 万台)	+91万台 (+33万台)	+10.8% (+ 10.6%)	

2008年3月期 第1～3四半期累計 経常利益増減要因(前年比)

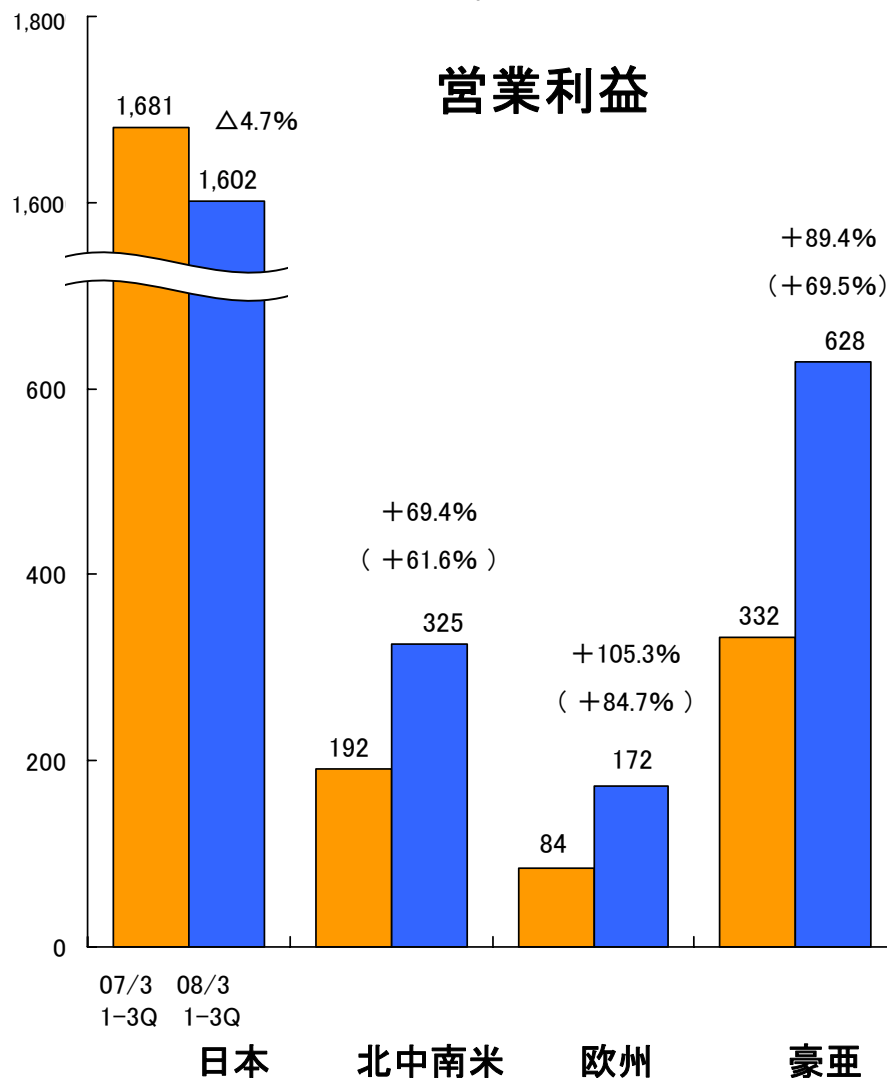
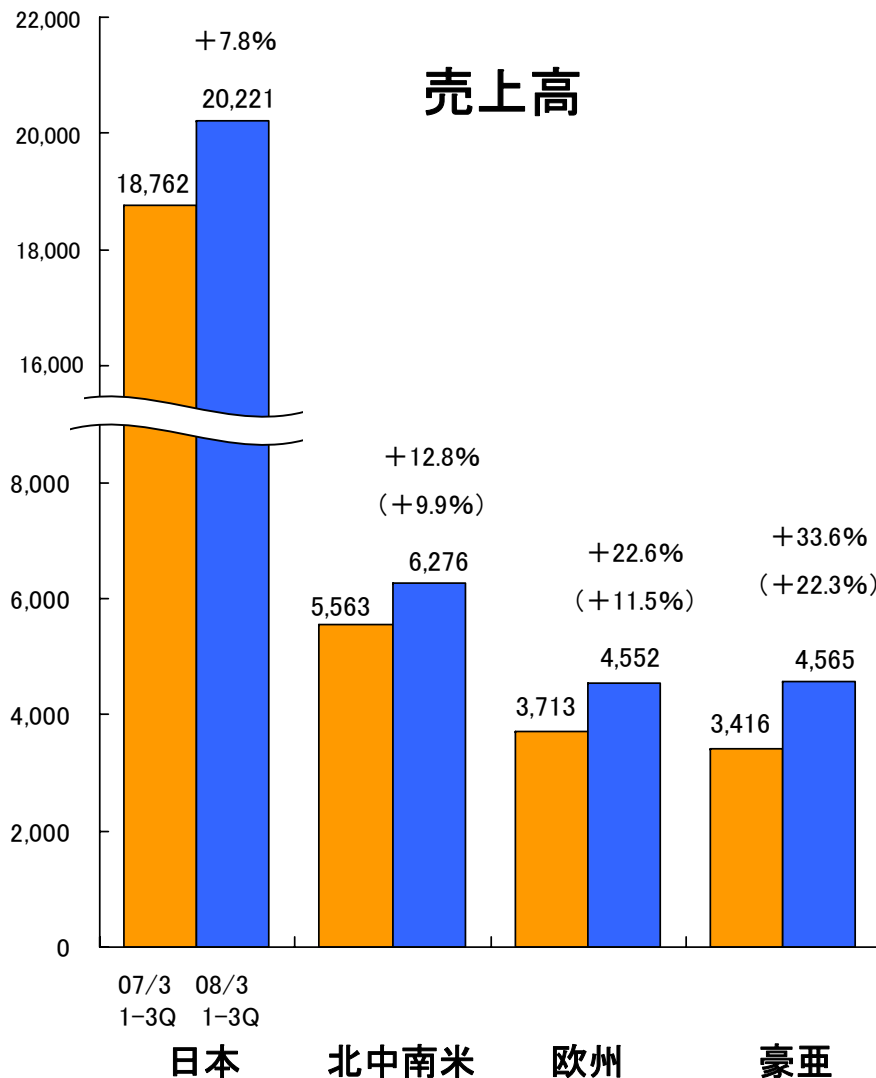
2008.1.31

07 / 17



【単位:億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース



2008年3月期 通期最新予想(前年比)

2008.1.31

09 / 17

中間時の予想値を据え置き

【単位:億円】

	08/3期予想 (最新)	07/3期実績	増減額	増減率
売上高	39,500	36,097	+3,403	+9.4%
営業利益	(8.5%) 3,370	(8.4%) 3,031	+339	+11.2%
経常利益	(9.0%) 3,560	(8.9%) 3,221	+339	+10.5%
税引前利益	3,530	3,197	+333	+10.4%
当期純利益	(5.8%) 2,280	(5.7%) 2,052	+228	+11.1%

最新←中間時

為替レート	113円←117円/ドル 160円←156円/ユーロ	116円/ドル 149円/ユーロ
国内車両生産 (うちトヨタ)	1,191万台←1,166万台 (427万台←428万台)	1,150万台 (419万台)
海外日系車生産 (うちトヨタ)	1,252万台←1,278万台 (464万台←461万台)	1,139万台 (418万台)

設備投資・償却費・研究開発費

2008.1.31

10 / 17

【単位：億円】

		07/3期		08/3期		1-3Q	1-3Q
		1-3Q	実績	1-3Q	予想(最新)	前年比	進捗率
設備投資	日本	1,494	2,107	1,680	2,490	+12.4 %	67.5 %
	北中南米	292	404	302	450	+ 3.4 %	67.0 %
	欧州	175	248	225	250	+28.6 %	90.1 %
	豪亜	260	366	274	390	+ 5.4 %	70.3 %
	合計	2,221	3,125	2,480	3,580	+11.7 %	69.3 %
償却費	日本	1,116	1,533	1,345	1,870	+20.5 %	71.9 %
	北中南米	176	244	207	280	+17.6 %	73.9 %
	欧州	160	214	178	240	+11.3 %	74.2 %
	豪亜	149	207	186	245	+24.8 %	75.9 %
	合計	1,601	2,199	1,915	2,635	+19.6 %	72.7 %
研究開発費 (売上高比)		2,030 (7.7%)	2,799 (7.8%)	2,264 (7.6%)	3,100 (7.8%)	+11.5 %	73.0 %

単独決算概要

2008.1.31

11 / 17

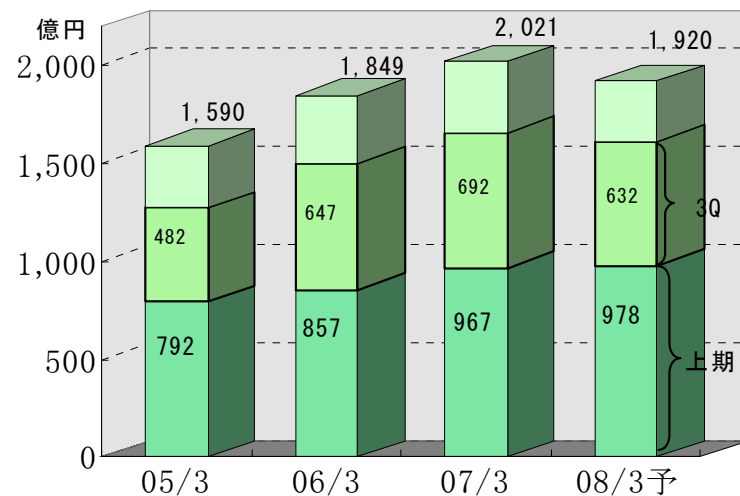
損益計算書

()内は売上高比

(単位:億円, %)

科目	07/12期実績 (3ヶ月)		06/12期実績 (3ヶ月)		前年比		08/3期予想		前年比	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	(100.0)	6,513	(100.0)	6,027	486	8.1	(100.0)	24,440	1,511	6.6
売上原価	(86.7)	5,647	(84.8)	5,110	537					
販売費及び一般管理費	(5.3)	345	(5.5)	333	12					
営業利益	(8.0)	520	(9.7)	583	△ 63	△10.8	(6.4)	1,570	△ 93	△5.6
営業外収支		112		109	3			350	△ 9	
経常利益	(9.7)	632	(11.5)	692	△ 60	△8.6	(7.9)	1,920	△ 101	△5.0
特別損益		-		△ 14	14			△ 27	21	
税引前当期純利益	(9.7)	632	(11.2)	678	△ 46	△6.7	(7.7)	1,893	△ 80	△4.1
当期純利益	(6.7)	434	(7.3)	438	△ 4	△0.9	(5.4)	1,320	△ 59	△4.3
国内車両生産		315万台		298万台				1,191万台		
為替レート(US\$)		112円		117円				113円		
為替レート(ユーロ)		163円		150円				160円		

経常利益の推移



経常利益増減要因(06/12→07/12)

(単位:億円)

プラス要因		マイナス要因	
操業度差益	151	製品構成変化	△ 93
合理化努力	90	償却費増	△ 77
為替差益	12	(うち、税制改正影響)	△ 35)
営業外収支増	3	労務費増	△ 60
		素材費増	△ 1
		経費増他	△ 85
計	256	計	△ 316
経常利益減		△ 60億円	

前提となる為替レート／車両生産台数

2008.1.31

12 / 17

【単位】為替:円、車両:万台

	上期			3 Q			4 Q			下期				年間			
	前年	実績	前年比	前年	実績	前年比	前年	最新予想	前年比	前年	中間予想	最新予想	前年比	前年	中間予想	最新予想	前年比
為替(US\$)	114	118	4円円安	117	112	5円円高	119	105	14円円高	118	115	109	9円円高	116	117	113	3円円高
為替(ユーロ)	145	161	16円円安	150	163	13円円安	156	155	1円円高	153	150	159	6円円安	149	156	160	11円円安
国内車両生産	553	548	▲ 1%	298	315	+ 5%	299	328	+10%	597	620	643	+ 8%	1,150	1,166	1,191	+ 4%
うちトヨタ	200	200	± 0%	109	114	+ 5%	110	113	+ 3%	219	228	227	+ 4%	419	428	427	+ 2%
北米日系車生産	217	226	+ 4%	109	112	+ 3%	119	119	± 0%	228	239	231	+ 1%	445	468	457	+ 3%
うちトヨタ	81	86	+ 6%	40	42	+ 5%	43	45	+ 5%	83	88	87	+ 5%	164	174	173	+ 5%
海外日系車生産	550	604	+10%	290	327	+13%	299	321	+ 7%	589	653	648	+10%	1,139	1,278	1,252	+10%
うちトヨタ	206	222	+ 8%	104	121	+16%	108	121	+12%	212	239	242	+14%	418	461	464	+11%

1. 国内生産体制の強化

2. 製品開発

～環境分野での取り組み(エジェクタ採用冷凍サイクル)～

3. 技能者育成～技能五輪への取り組み～

1. 国内生産体制の強化

生産体制強化の考え方

(1) 小型・重要機能部品はグローバルに集中生産

(2) 自動車生産の拡大する西日本への対応

(3) 生産地の分散による優秀な人材の確保



2. 製品開発～環境分野での取り組み～

2008.1.31

15 / 17

	'95	'00	'05	開発中
ディーゼル	95 120MPaコモンレール	02 180MPaコモンレール	05 ピエゾインジェクタ	200MPa コモンレール システム
ガソリン	97 直噴インジェクタ, ポンプ 97 油圧VCT*		06 電動VCT*	
ハイブリッド	97 インバータ		07 両面冷却インバータ	エネルギー マネジメント
アイドル ストップ		01 アイドルストップスタータ		
発電		99 SCオルタ 02 充電制御ECU		
空調	95 スクロールコンプレッサ		03 電動コンプレッサ	エジェクタ サイクル
操舵		98 電動パワステシステム		

*VCT: Variable Cam Timing

■ 世界初商品

2. 製品開発～エJECTA採用冷凍サイクル～

2008.1.31

16 / 17

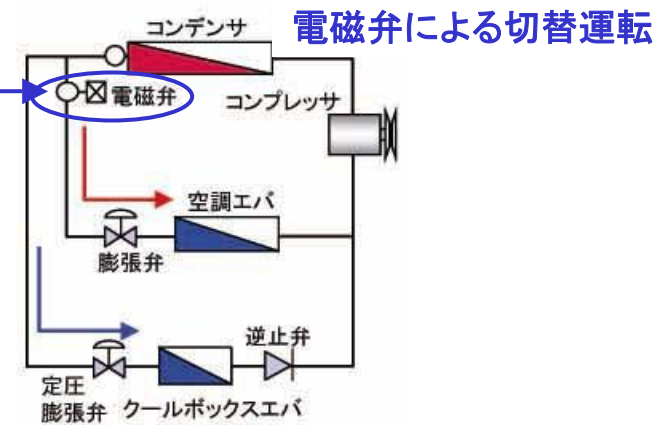
カーエアコンとクールボックスの冷凍サイクルにエJECTAを採用したシステムを
世界で初めて開発（トヨタ自動車のランドクルーザに搭載）

(1) 従来方式

エアコンの冷房用とクールボックスの冷蔵用の冷媒
の流れを電磁弁で切り替え



クールボックス使用時にエアコンの冷房性能が低下
する可能性あり



(2) エJECTA方式

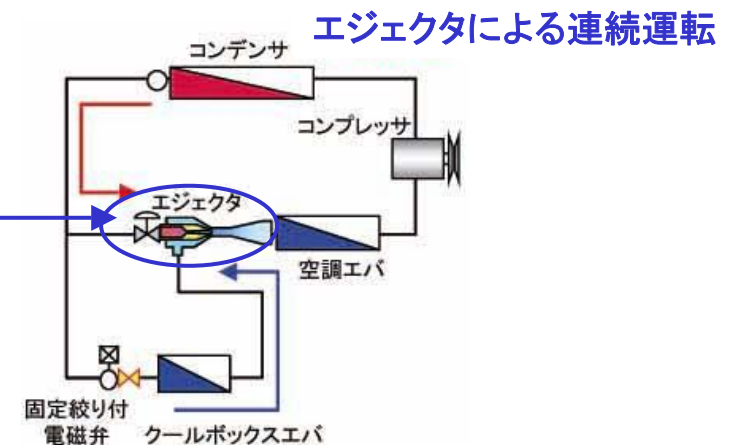
電磁弁と膨張弁を廃止し、エJECTAを採用すること
で、エアコンとクールボックスの同時運転が可能



冷房+15%、冷蔵+20%の性能向上



車の燃費改善に貢献



3. 技能者育成～技能五輪への取り組み～

07年ユニバーサル技能五輪世界大会で、出場した全職種で入賞

大会	職種	成績
第39回技能五輪 国際大会	抜き型	金
	移動式ロボット	金
	製造チームチャレンジ	銀
	CNC旋盤 <タイ代表>	銀
	電気設備 <インドネシア代表>	敢闘賞
第7回国際 アビリンピック	電子回路接続	金・銀・銅
	電子機器組立及びテスト	金・銀



技能五輪への取り組みを通じて体得した高度熟練機能は、機械設備・金型製作などの生産技術部門や開発部門で応用

クルマがずっと愛されるために

DENSO